

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52405	造形Ⅰ Drawing and manual artⅠ	加藤 克俊	専門	1	必修	1 年前期
科目の概要						
絵の具・パス・サインペン・版画インクといった造形の作品制作に使用する描画材料は、工夫して用いることでさまざまな表現が可能になる。この授業では造形の作品制作を通して、子どもの視点から制作におけるポイントを探していく。また、幼児教育及び、保育の現場で活躍できるための知識・技能を修得する。						
学修内容			到達目標			
① 30 種類の平面技法を学び、まとめる。 ② 友だちの作品を見ながら、各々の表現を認め合う。 ③ 身近な素材を使い、制作を工夫して楽しむ。 ④ 保育者として配慮すべきことを考え、まとめる。 ⑤ 子どもの視点を意識した制作から、表現を楽しむ。			① ものの美しさに対する豊かな感性をもつことができる。 ② 自分なりの表現を楽しむことができる。 ③ 生活の中から作品のイメージを膨らますことができる。 ④ 保育者として配慮すべき内容を知ることができる。 ⑤ 子どもに伝えるべき技術を身につけることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自分がすべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。周囲に流されず、やるべきことに集中できる。				
	働きかけ力	同じ目標を持つ仲間として、学ぶべき事、やるべきことを周囲と共有し、ともに成長しようとすることができる。				
	実行力	自分の力を把握し、完成までに必要な時間を見極め、計画的に制作を進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	毎回の制作過程や、活動の終わりに自分に足りない力を分析することができる。				
	計画力	ドローイングの手順として、どのような準備が必要か、考えながら取り組むことができる。				
	創造力	既存のイラストやキャラクターにとらわれず、自分なりのモチーフによって楽しく制作ができる。失敗した箇所は、そこから新たな発想で異なるイメージに発展させることができる。				
チームで働く力	発信力	制作のまとめにおいて、自分だけでなく、だれが読んでも手順を理解できる工夫がされている。また、分かりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解することができ、必要な情報を得るために集中することができる。				
	柔軟性	自分の考えに固執せず、周囲の意見を新しい考えとして積極的に受け入れ、制作に活かすことができる。				
	状況把握力	準備や片付けにおいて、周囲の状況から自分の役割を理解し、行動することができる。				
	規律性	周囲に迷惑を掛けないう、守らなければならないルールや約束、マナーを理解することができる。				
	ストレスコントロール力	ストレスの原因が何なのか自身をみつめ、だれかに話を聞いてもらうなどして緩和することにより努める。どうしようもないことについては深く考えない。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:使用しません。 参考文献:『幼稚園・保育所の保育内容―理論と実践―保育表現Ⅱ(造形)』田研出版株式会社						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:造形Ⅱ 資格との関連:幼稚園教諭二種免許状、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
技法についていかにしてまとめてあるかを重視する。保育者としてどういった要点があるのか考えながら取り組んでほしい。毎回の説明を聞き漏らさないこと。また、提出期限を必ず守ること。			わからないことについては質問をして欲しいが、すでに説明した内容と同じことは受け付けない。欠席などでできなかった分は、友達に聞いて必ずやること。また、提出期限を必ず守ること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	90	①	✓	・スケジュール管理をし、作品提出期限を必ず守ることが必要である。 ・すべての技法をまとめ、提出しなくてはならない。 ・制作過程のまとめを見やすく、分かりやすくまとめる。特にポイントとなる 3 つの視点(・気が付いたこと・子どもに気を付けること・次にうまくできるために)について、自分なりによく考えることが必要である。各項目のまとめ方を重視し、制作と共に総合的に評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) ・技能習得のために指示がなくても自ら工夫を凝らした制作ができる。 (実行力) ・自分の力を把握し、完成に向かって集中して取り組むことができる。 (課題発見力) ・毎回の制作過程や、活動の終わりに自分に足りない力を分析し、改善に取り組むことができる。 (創造力) ・既存のイラストやキャラクターにとらわれず、一つのイメージから身近なものをヒントにさらに違うイメージを発想するなど、制作を楽しむことができる。 (発信力) ・制作のまとめにおいて、自分だけでなく、だれが読んでも手順を理解できる工夫がされている。また、分かりやすく伝えることができる。 (傾聴力) ・常に優先順位を意識し、自分が今、耳を傾けなくてはならないことはどっちなのか考えることができる。また、他人の優先順位を乱すようなことをしない。 (規律性) ・頻繁な忘れ物、周囲への迷惑行為、ぞんざいな制作活動、学習意欲の欠如など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
★それぞれの技法について見やすく、分かりやすくまとまっており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。提出期限を守ること。(①)★技法を使った作品も非常に丁寧に作られており、全体として本科目を楽しんでいることが伝わるような仕上がりが見られること。(②) S(秀)=①+②、A(優)=①	★それぞれの技法についてまとまっており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。(①) ★完成作品を、期限を守って提出すること。(②) B(良)=①+②、C(可)=②

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	ガイダンス 「色鉛筆の 100 色パレット」扱いやすい画材は、その使い方を工夫することを忘れてしまいます。使い方が正しいで表現が広がることを実感します。	実習 この授業の到達目標の基準を確認する。	本科目の進行について理解する。 色鉛筆の重ね塗りによる表現の広がりを理解する。	(復習)色鉛筆の重ね塗りの順番で違う色が作れることをまとめる。 (予習)ドリップングの技法について調べておく。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	「吹きながし」「たらし絵」「合わせ絵」子どもたちの身体能力は未発達な部分もあります。表現活動の中で、どのような点に注意すべきか考えます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。	(復習)身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。(予習)歯ブラシ、スポンジを使った描画法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	「霧ふりかけ」「にじみ絵」「スポンジ画」どういった完成図にするか、計画しながら制作を進めていき、その中から新たな発想が浮かぶことがあります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 構想を練って計画的に制作を進めることができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)保育現場における子ども手形の意味について考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	「サインペンの水描き」「指絵」「手型足型とり」身体 の形を使った描画は、特に子どもにとっては成長の軌跡となります。その表現の魅力を実感します。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 絵の具の感触を直に感じ、子どもと同じ感覚で表現を楽しむ。	(復習)子どもが様々なものに触れ、感じ、学ぶことについて調べる。 (予習)クレヨン の定義について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	「ステンシル」「ひっかき絵」「はじき絵」画材を組み合わせることで科学的な効果が起こり、子どもにとって、あっと驚くような制作を体験します。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 クレヨンを使った表現について注意点を理解し、楽しむことができる。	(復習)クレヨン の持つ特性を理解し、制作をまとめる。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	「フォトモンタージュ」「スチロールモノプリント」「ボンド版画」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとっても身近なものを使って版をつくります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 版画は手順の多い制作の一つであるが、説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	「紙版画」「転写刷」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとっても身近なものを使って版をつくります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 版には凹凸が必要であるが、逆に凹凸があれば何でも版になることを理解する。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	「ダンボールの型押し」「孔版」同じ形を画面上に繰り返せることが、版の特徴です。その特徴を理解し、十分に造形遊びに取り組みます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 繰り返すときの特徴的な行動であることを理解する。	(復習)繰り返しは子どもが没頭するときの特徴的な行動であることを理解し、制作をまとめる。 (予習)身近な素材を使った制作に備える。子どもの嫌いな野菜を調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	「重ね色スタンプ」「ビー玉ころがし」生活の中には描画材となりえるものが沢山あります。それらはそのまま素材にもなるし、道具にもなります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 身近なものを描画材として使う柔軟な発想を養う。	(復習)他にどのような身近な素材が描画材に活かせるか考える。 (予習)世界のマープリングの技法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	「ウォッシング」「墨ながし」「こすり出し」手順や気を付けるべき所が多い制作は、十分に説明を理會しておかなくてはなりません。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)たこ糸を使った描画法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	「墨つけデザイン」「糸ころがし」「糸ひき絵」画材として糸一本も、使い方によって描画表現が変化します。固定概念にとらわれず、工夫することの楽しさを学びます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 身近なものを描画材として、様々な方法で使う柔軟な発想を養う。	(復習)たこ糸を使った描画法が、他にもできないか考えてみる。 (予習)シャボン液のつくり方について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	「アワうつつ」「紙の折染め」絵の具が紙の繊維に染み込んでいくのは、自然の力です。自分が意図しない美しさを発見することができます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 シャボン液の配合と、折染めの折り方について理解する。	(復習)シャボン液の配合と、折染めの折り方について理解し、制作をまとめる。 (予習)点描など、小さいものの集合による表現について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	「砂絵」「ちぎり絵」小さいものを集めることで画面をつくることもできます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 砂粒やちぎった色紙の集合によって、絵の具とは違った表現を楽しむことができる。	(復習)視覚混合と補色対比について理解する。 (予習)どのような表紙にするか、構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	「これまでに学んだ技法を使った表紙制作」テーマに沿った制作をします。半期のまとめの活動として、学んだ技法を活かした表現を楽しみます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	制作を完成する。 3つ以上の技法を使って八つ切り画用紙に制作をする。	(復習)これまでの制作をふりかえり、まとめきれない部分を完成させる。 (予習)これまでの作品を順にそろえる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	製本「目次の制作」これまでの作品をまとめ、いつでも見返せるように本にします。造形を教える人になるなら、自分の制作物を大切にできる人になりましょう。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。 工夫された部分や、面白い表現に気付く。	制作を完成する。 子どもの成長は著しいので、制作物も見ると変化していく。子どもの制作物を大切にできる保育士は、自分の制作物も大切にできることを理解する。	(復習)作品提出に向けて不備がないかよく確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52406	造 形 Ⅱ Educational Art (Expression through Art) Ⅱ	石川 博章	専門	1	必修	1 年後期
科目の概要						
この授業では、造形の指導者になるということを強く意識しながら、造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎、理論を修得します。また、保育者自身がカリキュラムといえる保育の世界において、子どもたちの創造的な表現活動を導き出すためには、保育者自身が感性を磨くことも大切になってきます。よって、自らの感性を高めるべく、習った理論に基づいた各種の制作も行っていきます。この制作も常に保育現場を想定しながら展開していきます。そして、子ども造形の理論についても修得します。子どもの造形の理解については、理論学習に加え、各自が持参した子ども作品の鑑賞をとおして深めていきます。						
学修内容			到達目標			
① 造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎・理論を習得する。			①色のこと(三原色、混色、補色と混色)を理解し、それに関する作品を作ることができる。			
② ①で習った基礎・理論に基づいて制作をおこなうことにより、より深い理解を目指すとともに、保育者としての感性を磨く。			②保育造形に使う画材、材料、道具を理解し、それに関する作品を作ることができる。			
③ 子どもの造形やその造形理論について習得する。			③子ども造形やその造形理論について理解し、指導することができる。			
④ まとめとして段ボール作品と指導案抄の制作をする			④段ボール作品をつくり、造形に関する指導案抄を立案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに、自ら進んで学修することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	課題をするために、手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	必要な情報を見つけて整理し、自ら課題を見つけることができる				
	計画力					
	創造力	課題を終了するために、造形的創造力を発揮することができる。				
チームで働く力	発信力	必要な情報を見つけて整理し、自ら課題を見つけることができる				
	傾聴力	人の発表に耳を傾け、実践的な理解を深めることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻をすることなく、積極的に授業に参加することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：特定のテキストはない。プリント配布あり（記入し提出する必要あり）						
参考文献：なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:造形Ⅰ、造形Ⅲ、保育内容(表現)						
資格との関連：幼稚園教諭二種、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。 ・課題として子ども作品の提出があります。			・20 分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第しない。 ・欠席はマイナスに評価する。 ・提出期限に遅れた場合はマイナスに評価する。 ・授業態度が悪い場合はマイナスに評価することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	65	①	✓	・三原色の構成(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか。)
		②	✓	・自然物、手芸用品を使った制作(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか。)
		③		・段ボール作品(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか。)
		④	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 主体性を持って課題が完成できる。
		②	✓	(実行力) 実行力をもって課題が完成できる。
		③	✓	(課題発見力) 内容を整理し、自ら課題を見つけることができる
		④	✓	(創造力) 創造力を駆使し、自己表現できる。
				(発信力) 自らの制作について、発信できる。
				(傾聴力) 他者の発表に対して耳を傾けることができる。
				(規律性) 積極的に授業に参加できる。
その他	25	①		・色相図(描き漏れがなく、きちんと提出されたか)
		②	✓	・学習プリント[クレヨン等](書きおとしがなく、きちんと提出されたか)
		③	✓	・学習プリント[ハサミ等](書きおとしがなく、きちんと提出されたか)
		④	✓	・カードの原画(描き漏れがなく、きちんと提出されたか)
				・学習プリント[子どもの絵①](書きおとしがなく、きちんと提出されたか)
				・学習プリント[子どもの絵②](書きおとしがなく、きちんと提出されたか)
				・子どもの絵(きちんと提出されたか)
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) 及び C(可) の基準
制作課題は、期限内に提出され、創造的で完成度が高いこと。 加点課題については欠点がなく期限に提出すること。 S(秀)になるためには、全課題の合計が 90 点以上であること。	制作課題は完成して、期限内に提出されること。 加点課題については、期限を守って提出すること。 C(可)については、別欄参照

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 / 	導入、色についてⅠ(①造形要素(色、形、素材、道具等)について②子どもと色③色づくり(色相環の制作)	講義 制作 (フィードバック)		(予習)作品の構想を練る	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力
2週 / 	色についてⅡ(①色づくり(色相環の制作)②補色の混色)	制作 (フィードバック)	作品の提出	(予習)作品の構想を練る	45	主体性 実行力 創造力
3週 / 	色についてⅢ(①三原色でつくるいろいろな色(葉で花を作る))	制作 (フィードバック)	作品の提出	(予習)作品の構想を練る	45	主体性 実行力 創造力
4週 / 	材料・道具についての話Ⅰ(保育者にとってのエッセンシャル(道具と材料)①クレヨン②絵の具③マーカー④パレット、絵具スタンド⑤筆、ローラー)	講義 プリント記入 (フィードバック)	課題の提出	(予習)学習プリントの新聞記事を学習する	45	傾聴力
5週 / 	材料・道具についての話Ⅱ(保育者にとってのエッセンシャル(道具と材料)①はさみ、カッターナイフ②接着剤③テープ④かなづち、のこぎり)	講義 プリント記入 (フィードバック)	課題の提出	(予習)学習プリントの新聞記事を学習する	45	傾聴力
6週 / 	材料の知識を活かした制作(立体素材(自然素材と手芸用品等)と木工用ボンドを使ったレリーフづくり)	制作 (フィードバック)	作品の提出	(予習)作品の構想を練る	45	主体性 実行力 創造力
7週 / 	子どもの造形についての話Ⅰ(①保育造形の基本②子どもの絵の発達)	講義 プリント記入 (フィードバック)	課題の提出	(予習)学習プリントの新聞記事を学習する	45	傾聴力
8週 / 	子どもの造形についての話Ⅱ(①障害と子どもの絵②男女による絵の相違③立体造形の発達④保育の中の造形)	講義 プリント記入 (フィードバック)	課題の提出	(予習)学習プリントの新聞記事を学習する	45	傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	子どもの絵の鑑賞Ⅰ（①個人の発表②意見発表③教員からのコメント）	講義 発表 (フィードバック)	課題の提出	(予習)鑑賞シートの作成	45	主体性 実行力 創造力
10週 /	子どもの絵の鑑賞Ⅱ（①個人の発表②意見発表③教員からのコメント）	講義 発表 (フィードバック)	課題の提出	(予習)鑑賞シートの作成	45	主体性 実行力 傾聴力
11週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅰ（①導入②子どもと遊び③ダンボールという素材について④制作についての条件）	講義 制作 (フィードバック)		(予習)作品の構想を練る 指導案(抄)を作成する	45	主体性 実行力 傾聴力 創造力
12週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅱ（①アイデア構想②本制作）	制作 (フィードバック)		(予習)作品の構想を練る制作する 指導案(抄)を作成する	45	主体性 実行力 創造力
13週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅲ（①本制作②指導案(抄)の作成）	制作 (フィードバック)		(予習)作品制作をする 指導案(抄)を作成する	45	主体性 実行力 創造力
14週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅳ（①本制作②制作の記録(抄)の作成）	制作 (フィードバック)		(予習)作品制作をする 指導案(抄)を作成する	45	主体性 実行力 創造力
15週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅴ（①本制作②講評）	制作 (フィードバック)	作品の提出 指導案抄の提出	作品制作をする	45	主体性 実行力 創造 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況
把握力 規律性 ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52407	造 形 III Educational Art (Expression through Art) III	石 川 博 章	専 門	1	選 択	2 年前期
科目の概要						
子どもたちが取り組むことができる造形に関する題材を取り上げ、模擬保育(設定保育)を行います。学生自身が保育者側と幼児側に分かれ、保育計画を立てて取り組んでいきます。造形Ⅰ、Ⅱで学習したことを積極的に取り入れて計画してもらいます。保育者側は、数名で1組となります。全員必ず 1 回保育者役を経験します。模擬保育の終了後は、学生間で反省を出し合い、ふりかえりを通して多くを学ぶ姿勢を大切にしていきます。また、こどもまつりのポスターも制作します。						
学修内容			到達目標			
① 造形における保育計画の立案、実施を学ぶ ② 造形の指導法を習得する ③ 機能をもった作品(ポスター)の制作をする ④ まるカードの原画の制作をする			① 保育造形の指導案の立案ができる ② 保育造形の指導ができる ③ 機能を持った作品の制作ができる ④ 目的にあった制作ができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、指導案を制作することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	グループ内で、担当した役割を遂行することができる				
考え抜く力	課題発見力	指導案を作成する上で、課題を見極めることができる				
	計画力					
	創造力	指導案を作成する上で、いろいろな方向から考えることができる				
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、しっかりとした指導ができる。				
	傾聴力	グループ内で、人の意見を聞き、自分の意見も表明することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	模擬保育を行う上で、集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:特定のテキストはない。プリントの配布あり 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:造形Ⅰ、造形Ⅱ、保育内容(表現) 資格との関連:保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。 ・子ども役の子は、ただ漫然と参加するのではなく、自分が保育者ならばという認識を常に持ち、参加してほしい。			・20 分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第しない。 ・欠席はマイナスに評価する。 ・提出期限に遅れた場合はマイナスに評価する。 ・授業態度が悪い場合はマイナスに評価することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①		自分の模擬保育について、振り返りができ、今後の課題を整理できているか
		②	✓	
		③		
		④		
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	保育造形の指導案の立案ができるか。 保育造形の指導ができるか
		②	✓	
		③		
		④		
作品	35	①		機能を作品に表現しているか。 求められている要件を満たした作品が完成できたか。
		②		
		③	✓	
		④	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	5	①	✓	(主体性)教材研究を行い、指導案を作ることができる (実行力)グループ内で、担当した役割を遂行することができる (課題発見力)指導案を作成する上で、課題を見極めることができる (創造力)創造的な作品を制作できる。 (発信力)保育者役を行うことができる。 (傾聴力)グループ内で、人の意見を聞き、自分の意見も表明することができる。 (規律性)模擬保育を行う上で、集団のルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
指導案立案に積極的に参加できること。 指導方法を修得していること 制作課題は、期限内に提出され、創造的で完成度が高いこと。 加點課題については欠点がなく期限に提出すること。 S(秀)になるためには、全課題の合計が 90 点以上であること。	指導案制作に関与すること。 模擬保育の指導に参加すること 制作課題は、期限内に提出され、創造的で完成度が高いこと。 加點課題については欠点がなく期限に提出すること。 C(可)については、別欄参照。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション (授業の概要説明、教材の紹介、グループ分け)	講義	内容を理解する	(予習) 模擬保育の立案	45	計画力
2週 /	グループでの準備活動 (題材の決定、役割分担の決定、保育計画の立案)	実技 制作	活動に参加する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備	45	主体性 実行力 計画力 創造力
3週 /	グループでの準備活動 (題材の決定、役割分担の決定、保育計画の立案)	実技 制作	活動に参加する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備	45	主体性 実行力 計画力 創造力
4週 /	模擬保育1 (グループ1が模擬保育を行う、反省会(保育者役、子ども役)、講評、準備物等連絡)	実技 制作 講評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
5週 /	模擬保育2 (グループ2が模擬保育を行う、反省会(保育者役、子ども役)、講評、準備物等連絡)	実技 制作 講評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
6週 /	模擬保育3 (グループ3が模擬保育を行う、反省会(保育者役、子ども役)、講評、準備物等連絡)	実技 制作 講評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
7週 /	模擬保育4 (グループ4が模擬保育を行う、反省会(保育者役、子ども役)、講評、準備物等連絡)	実技 制作 講評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
8週 /	模擬保育5 (グループ5が模擬保育を行う、反省会(保育者役、子ども役)、講評、準備物等連絡)	実技 制作 講評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	模擬保育6 (グループ6が模擬保育を行 う、反省会(保育者役、子ども 役)、講評、準備物等連絡)	実 技 制 作 講 評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
10 週 /	模擬保育7 (グループ7が模擬保育を行 う、反省会(保育者役、子ども 役)、講評、準備物等連絡)	実 技 制 作 講 評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
11週 /	模擬保育8 (グループ8が模擬保育を行 う、反省会(保育者役、子ども 役)、講評、準備物等連絡)	実 技 制 作 講 評 (フィードバック)	保育を行う 保育に参加する レポートを作成する	(予習) 模擬保育の立案 教材研究 材料等準備 レポートの作成	45	主体性 実行力 計画力 創造力
12 週 /	こどもまつりのポスター制作	制 作	制作をする	(予習) ポスターの制作	45	主体性 創造力
13 週 /	こどもまつりのポスター制作	制 作	制作をする	(予習) ポスターの制作	45	主体性 創造力
14 週 /	こどもまつりのポスター制作	制 作	制作をする	(予習) ポスターの制作	45	主体性 創造力
15 週 /	こどもまつりのポスター制作 まとめ	制 作 講 義	制作をする	(予習) ポスターの制作	45	主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力